



# 授業改善に1人1台端末を活用する

## ～デジタル及びアナログ教材の併用～

1人1台端末が整備されて約半年が経過しました。各校で端末活用が推進されるにつれ、新たな悩みが生じてきました。解消の糸口について、浅口市立鴨方西小学校の実践を紹介します。

授業で1人1台端末を積極的に活用していますが、**ノート等との使い分け**に悩んでいます…。



### 実践：浅口市立鴨方西小学校 第4学年算数科「計算のきまりとくふう」



#### 「即時に情報が共有できる」特性を生かして考えを比較する。

##### 1人1台端末を活用して、児童同士で双方向の意見交換の場を設定する。



先生が配付したデジタルワークシートに意見を表します。図入りのシートを複数用意し、3つ以上の意見を表すことができるよう工夫されています。表現が短時間で修正できるので、個人思考を深めるために有益です。

ペアで意見を伝え合った後、共有したり比較したりして考えを深めます。新たな気付きは、デジタルワークシートに追記します。児童が、交流の目的を理解していることが大切です。



めあて（目標）を示す

自分で考え、表現する時間を確保する

目標の達成度を確認する

学習内容をまとめる

授業の振り返りをする

授業と家庭学習をつなぐ

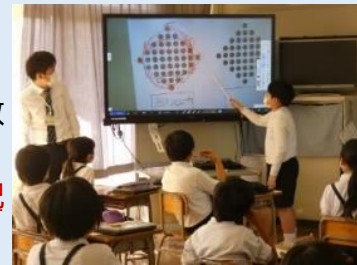
##### ワークシートを活用して、本時の学習内容の定着度を確認する。



端末を活用して深めた考えを生かして、発展問題に挑戦します。ワークシートを複数枚準備し、学習の足跡としてノートに貼付しました。家庭学習等で振り返る際に活用します。

電子黒板を活用し、どのように発展問題を解いたか数名が発表し、それぞれの解法の良さを共有します。

教員は、集めたワークシートから、個々の定着度を把握します。



「デジタルとアナログ教材を併用する際の最も効果的なバランスはどれぐらいか。」という問いについて、一律の答えはありません。そのため、デジタル教材の活用が、「授業のねらいの達成に寄与していたか」について丁寧に振り返り、本実践の成果と課題を整理して、次の実践に生かしていきましょう。

ICTを活用する効果として、本資料で紹介した事例以外にも、児童生徒が同時に別々の内容を学習したり、個別の学習履歴を記録したりすることができるなどもあります。

ICTの特性とこれまでの教育実践の蓄積を、単元や本時、学習活動のねらいによって使い分けたり、融合させたりしながら児童生徒に多様な学び方を経験させることで、学び方やツールを自ら選択できる力が育成されます。

もう一押し！

